

平成20年度質の高い大学教育推進プログラム審査結果表【選定】

機 関 名	拓殖大学				
取 組 名 称	環境配慮型 CSR 対応教育プログラム				
取組学部等	政経学部				
申 請 区 分	教育課程の工夫改善を主とする取組				
整 理 番 号	A11118	申 請 の 形 態	単 独	取 組 期 間	3 年
申請の分類	キャリア	体験活動	環境教育		
キーワード	CSR 対応, 社会貢献, 環境教育, 体験活動, 人材養成				

<選定理由>

本取組は、環境とキャリアを結びつけており、一応の実績を背景としているプログラムとして高く評価できる。特に、政経学部が環境教育をカリキュラムの中核に据えるという観点から、この取組の目的を達成することについて大きな意義を有するものである。

また、大学がこの取組の意義を高く位置づけ、企業との連携など、今後の展開について具体的な計画を立てていることなど、取組の実現性についても高く評価できる。

ただし、CSRに関する批判的分析をどのように指導するのか、ということが疑問点として残る。

また、どのような学習成果が期待されるのか、ということについても不明確な点も多く、より詳しい検討が必要だと思われる。特に、評価の基準、方法など明確にすることが望まれる。

取組実施に当たっては、これらのことに対応しつつ、着実に成果を上げることを期待する。

取組の概要【1ページ以内】

地球規模で多様化、深刻化している環境問題に対して、企業等においては、工場等のエネルギー使用合理化や種々の企業活動における省エネルギー対策などの企業活動のプロセスに社会的公正性や環境への配慮などを組み込むことや、環境問題に対する知識とその運用のための環境教育を積極的に推進させるなどの取り組みを行い、ステークホルダー(株主、従業員、顧客、環境、コミュニティなど)に対し説明責任を果たすべきという、企業の社会的責任(CSR:Corporate Social Responsibility)が強く求められるようになってきている。

政経学部においては、平成19年度から、副専攻課程「環境プログラム」を設置し、学年進行によって環境問題への課題についてのカリキュラムを実施して、幅広い環境問題への関心と認識を深化させる環境教育を推進中であるが、前記の企業活動の動向を踏まえて、CSR対応という視点を盛り込んだ教育プログラムに再構築し、そのプロセスを通じて、新時代に対応できる高い倫理観と職業観を有し、各専門分野において地球環境問題の課題に取り組むための知識および能力を併せ持つ人材養成を行おうとするものである。

環境配慮型CSR対応教育プログラム(以下、本取組)は、本学部の教育課程に、CSR対応の環境課題の知識能力の教育を、教養教育から専門教育を通じて体系的に学修するコースを設定し、企業等の協力を得てそれぞれの授業科目の教育内容を充実させると共に、リサーチメソッドによる応用能力を高める教育方法などの開発と展開を行い、また、現場実習や海外研修などの体験活動を有機的に編成し履修させる。同時に、環境教育を主軸とするCSRを体系的に学習するためのテキストを開発、作成する。

教育課程としては、1・2年次は八王子キャンパスにおいて、環境問題および食料・農業問題に関係する一定単位数の教養科目の履修を求め、これらの問題に対する基本的かつ高レベルの理解を深める。また、CSR対応の入門科目を設置し、本取組の履修者は必修とする。当該科目は、ビジネスマナー、秘密保持、法令順守などの基本ルールを理解させることを目的とし、法律、政治、経済の各分野を専門領域とする教員がオムニバスで講義を行う。

3・4年次は文京キャンパスにおいて、各学生の主たる専門分野(法律、政治・行政、経済)に応じた「環境法コース」、「環境政策コース」、「環境経済コース」、又は食料・農業問題に関係する「農業経済コース」にそれぞれ分かれて、企業等の活動と環境問題あるいは食料・農業問題との関わりについて、関連科目を履修する。さらに、現場実習や海外研修などの体験活動を通じて、実践的な問題解決能力の向上を図る。なお、各段階ともに、遠隔講義とeラーニングシステムを活用し、拓殖大学北海道短期大学環境農学科で開講されている農業関係科目の単位互換を可能にして、より多様な教育プログラムとする。また、国内外のNGO等関係者やCSR活動に従事している専門家等の参加を仰ぎ、本学において国際シンポジウムを開催し、本取組が目指す問題意識を広く社会に発信して啓蒙普及するとともに、「学生によるCSR活動提言コンテスト」を開催して、本取組の認知度向上と学生の主体的な参加を促す事業も実施する。

以上により、環境配慮型CSR活動への深い知識、能力を有し、「国際的視野に立って、それぞれの分野の基礎的知識と実務的技能を身につけ、進取の気性、高い倫理観、公正の精神をもって行動できる人間の育成」を目指す本学の理念、及び学部の教育方針を体现する社会貢献に寄与できる人材養成を目指す。